



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 株式会社池田泉州ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 8714 URL <http://www.senshuikeda-hd.co.jp/>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 藤田 博久
 問合せ先責任者(役職名) 企画部長 (氏名) 前野 博生 (TEL) 06-4802-0013
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日 配当支払開始予定日 —
 特定取引勘定設置の有無 無
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (平成26年3月期 第3四半期決算説明資料)
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (—)

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	81,263	0.9	12,411	18.4	10,284	10.6
25年3月期第3四半期	80,495	△8.4	10,479	26.0	9,294	421.2

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 4,052百万円(△61.8%) 25年3月期第3四半期 10,611百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	43.47	43.45
25年3月期第3四半期	39.46	39.44

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	5,326,199	185,537	3.2
25年3月期	4,994,458	185,389	3.5

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 175,405百万円 25年3月期 176,436百万円

(注) 「自己資本比率」は、((四半期)期末純資産の部合計 - (四半期)期末新株予約権 - (四半期)期末少数株主持分)を(四半期)期末資産の部の合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,000	△4.9	13,500	5.4	11,500	13.8	41.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期3Q	238,458,632株	25年3月期	238,458,632株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	1,438,473株	25年3月期	2,352,819株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期3Q	236,541,935株	25年3月期3Q	235,489,324株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信に添付しております。
・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

(第一種優先株式)

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	980円を18.5で 除した額	980円を18.5で 除した額
26年3月期	—	—	—		
26年3月期(予想)				980円を18.5で 除した額	980円を18.5で 除した額

(第二種優先株式)

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	1,020円を18.5で 除した額	1,020円を18.5で 除した額
26年3月期	—	—	—		
26年3月期(予想)				1,020円を18.5で 除した額	1,020円を18.5で 除した額

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

※平成26年3月期 第3四半期決算説明資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループ連結業績につきましては、貸出金利回りの低下を主因として資金運用収益が減少し、国債等債券売却益の減少を主因としてその他業務収益も減少しましたが、預かり資産販売額の増加を主因として役員取引等収益が増加し、株式等売却益などの増加を主因としてその他経常収益も増加したことから、連結経常収益は前年同期比7億68百万円増加し、812億63百万円となりました。

また、国債等債券売却損並びに償却の増加を主因としてその他業務費用が増加しましたが、不良債権処理額の減少を主因にその他経常費用が減少したこと、資金調達費用並びに営業経費も前年同期比減少したことから、連結経常費用は前年同期比11億63百万円減少して、688億52百万円となりました。

以上の結果、経常利益は前年同期比19億32百万円増加して、124億11百万円となり、特別損益並びに法人税等合計15億17百万円を計上後の四半期純利益は前年同期比9億90百万円増加して、102億84百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

預金の当第3四半期連結会計期間残高については、銀行業務において、個人預金・法人預金がともに増加したことから、前連結会計年度比949億円増加して、4兆5,856億円となりました。

貸出金の当第3四半期連結会計期間残高については、銀行業務において、事業性貸出が増加したことから、前連結会計年度比162億円増加して、3兆5,944億円となりました。

有価証券の当第3四半期連結会計期間残高については、銀行業務において、外国証券が増加したことなどから、前連結会計年度比2,582億円増加して、1兆4,274億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年11月11日に公表いたしました通期業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項ありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
現金預け金	100,867	145,129
コールローン及び買入手形	5,603	764
買入金銭債権	956	1,053
商品有価証券	108	99
金銭の信託	19,000	27,374
有価証券	1,169,201	1,427,418
貸出金	3,578,225	3,594,446
外国為替	4,376	6,029
その他資産	73,975	78,727
有形固定資産	38,105	37,857
無形固定資産	7,617	7,912
繰延税金資産	29,478	26,445
支払承諾見返	21,758	20,340
貸倒引当金	△54,814	△47,398
資産の部合計	4,994,458	5,326,199
負債の部		
預金	4,490,736	4,585,678
債券貸借取引受入担保金	124,915	286,523
借入金	71,909	111,279
外国為替	208	198
社債	50,000	70,000
その他負債	42,239	60,295
賞与引当金	1,708	874
退職給付引当金	4,511	4,328
役員退職慰労引当金	136	62
睡眠預金払戻損失引当金	315	366
ポイント引当金	163	188
偶発損失引当金	393	397
特別法上の引当金	—	0
繰延税金負債	68	123
負ののれん	5	3
支払承諾	21,758	20,340
負債の部合計	4,809,069	5,140,661
純資産の部		
資本金	72,311	72,311
資本剰余金	62,235	62,157
利益剰余金	35,431	40,638
自己株式	△1,350	△825
株主資本合計	168,627	174,281
その他有価証券評価差額金	7,808	1,115
繰延ヘッジ損益	0	8
その他の包括利益累計額合計	7,809	1,124
新株予約権	63	61
少数株主持分	8,888	10,070
純資産の部合計	185,389	185,537
負債及び純資産の部合計	4,994,458	5,326,199

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
経常収益	80,495	81,263
資金運用収益	49,305	46,798
(うち貸出金利息)	41,431	38,657
(うち有価証券利息配当金)	7,728	7,892
役員取引等収益	12,867	14,997
その他業務収益	10,338	5,950
その他経常収益	7,984	13,517
経常費用	70,015	68,852
資金調達費用	7,223	6,750
(うち預金利息)	5,217	4,874
役員取引等費用	3,925	4,141
その他業務費用	950	6,895
営業経費	40,810	39,998
その他経常費用	17,105	11,066
経常利益	10,479	12,411
特別利益	491	3
固定資産処分益	—	0
負ののれん発生益	491	3
特別損失	69	171
持分変動損失	—	112
固定資産処分損	49	36
減損損失	19	22
税金等調整前四半期純利益	10,901	12,243
法人税、住民税及び事業税	1,083	709
法人税等調整額	235	807
法人税等合計	1,319	1,517
少数株主損益調整前四半期純利益	9,582	10,725
少数株主利益	287	441
四半期純利益	9,294	10,284

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,582	10,725
その他の包括利益	1,029	△6,673
その他有価証券評価差額金	1,043	△6,680
繰延ヘッジ損益	△14	7
四半期包括利益	10,611	4,052
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,308	3,599
少数株主に係る四半期包括利益	302	452

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項ありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項ありません。

平成26年3月期 第3四半期
決算説明資料



池田泉州ホールディングス



池田泉州銀行

【 目 次 】

1	主要損益の状況		
	(1) 池田泉州ホールディングス	連結 1
	(2) 池田泉州銀行	単体 2
2	主要勘定の状況		
	(1) 預金、貸出金、有価証券等期末残高・期中平均残高	単体 3
	(2) 投資信託・公共債・生命保険	単体 5
3	自己資本比率の状況	 5
4	有価証券の評価損益の状況	単体 6
5	金融再生法開示債権の状況	単体 7

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

池田泉州銀行は、平成 25 年 3 月 25 日に会社分割の方法により、貸出金等の一部を事業再生子会社に移転いたしました。

このため、過年度との比較の観点から、貸出金残高並びに金融再生法開示債権等については、池田泉州銀行と事業再生子会社との合算の計数も併記しております。

1. 主要損益の状況

25年12月期の連結粗利益は24年12月期比104億53百万円減少して499億58百万円となりました。これは、投資信託販売額の増加などにより役務取引等利益が24年12月期比19億15百万円増加しましたが、貸出金利の減少などにより資金利益が24年12月期比20億34百万円減少したこと、また国債等債券損益の減少によりその他業務利益が103億33百万円減少したことによるものです。

また、営業経費は24年12月期比8億12百万円減少して399億98百万円となり、不良債権処理額も24年12月期比61億57百万円減少して31億71百万円となりました。株式等関係損益は、株式等売却益の増加などにより24年12月期比48億99百万円改善し38億26百万円の利益となりました。

以上の結果、経常利益は、24年12月期比19億32百万円増加して124億11百万円となりました。法人税等合計並びに少数株主損益などを計上後の四半期純利益は、24年12月期比9億90百万円増加して、102億84百万円となりました。

(1) 池田泉州ホールディングス【連結】

〈四半期連結損益計算書・四半期連結包括利益計算書ベース〉
四半期連結損益計算書

	25年12月期		24年12月期	26年3月期 通期業績予想
		24年12月期比		
1 連結粗利益	49,958	△10,453	60,411	
2 資金利益	40,047	△2,034	42,081	
3 役務取引等利益	10,856	1,915	8,941	
4 その他業務利益	△945	△10,333	9,388	
5 営業経費(△)	39,998	△812	40,810	
6 不良債権処理額(△)	3,171	△6,157	9,328	
7 株式等関係損益	3,826	4,899	△1,073	
8 持分法による投資損益	23	16	7	
9 その他	1,771	497	1,274	
10 経常利益	12,411	1,932	10,479	13,500
11 特別損益	△168	△590	422	
12 税金等調整前四半期純利益	12,243	1,342	10,901	
13 法人税等合計(△)	1,517	198	1,319	
14 法人税、住民税及び事業税(△)	709	△374	1,083	
15 法人税等調整額(△)	807	572	235	
16 少数株主損益調整前四半期純利益	10,725	1,143	9,582	
17 少数株主損益(△)	441	154	287	
18 四半期純利益	10,284	990	9,294	11,500

四半期連結包括利益計算書

16 少数株主損益調整前四半期純利益	10,725	1,143	9,582
19 その他の包括利益合計	△6,673	△7,702	1,029
20 その他有価証券評価差額金	△6,680	△7,723	1,043
21 繰延ヘッジ損益	7	21	△14
22 包括利益	4,052	△6,559	10,611

(注) 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

(2) 池田泉州銀行【単体】

(百万円)

	25年12月期		24年12月期	26年3月期 通期業績予想
		24年12月期比		
1 業務粗利益	44,918	△9,570	54,488	
2 資金利益	41,252	△1,062	42,314	
3 役務取引等利益	4,645	1,779	2,866	
4 その他業務利益	△980	△10,287	9,307	
5 経費（除く臨時費用処理分）（△）	35,397	△882	36,279	
6 うち人件費（△）	17,189	△725	17,914	
7 うち物件費（△）	16,643	△96	16,739	
8 実質業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	9,521	△8,687	18,208	
9 コア業務純益	10,542	539	10,003	
10 国債等債券損益	△1,021	△9,226	8,205	
11 一般貸倒引当金繰入額（△） ①	△4,896	△7,554	2,658	
12 業務純益	14,417	△1,133	15,550	20,000
13 臨時損益	△5,039	2,212	△7,251	
14 うち不良債権処理額（△） ②	7,102	2,676	4,426	
15 うち株式等関係損益	3,856	4,880	△1,024	
16 経常利益	9,378	1,080	8,298	12,000
17 特別損益	△36	7	△43	
18 税引前四半期純利益	9,341	1,086	8,255	
19 法人税等合計（△）	263	41	222	
20 法人税、住民税及び事業税（△）	△238	△310	72	
21 法人税等調整額（△）	502	352	150	
22 四半期純利益	9,078	1,046	8,032	11,000
23 与信関連費用 ①+②	2,205	△4,879	7,084	

2. 主要勘定の状況

池田泉州銀行【単体】

(1) 預金、貸出金、有価証券等期末残高・期中平均残高

預金残高については、25年12月末残高は24年12月末比1,202億円増加し、4兆6,128億円となりました。また、事業再生子会社2社分を含めた貸出金残高についても、25年12月末残高は24年12月末比489億円増加し、3兆6,120億円となりました。

① 期末残高

(百万円)

	25年12月末		25年3月末	24年12月末
	25年3月末比	24年12月末比		
預 金	4,612,814	99,921	120,227	4,492,587
貸 出 金	3,579,459	16,436	16,294	3,563,165
有価証券	1,451,484	258,358	307,635	1,143,849

(参考)

合算（銀行＋事業再生子会社2社）

貸出金	3,612,073	15,299	48,908	3,596,774	3,563,165
-----	-----------	--------	--------	-----------	-----------

② 期中平均残高

(百万円)

	25年12月期		25年3月期	24年12月期
	25年3月期比	24年12月期比		
預 金	4,553,099	123,317	137,423	4,415,676
貸 出 金	3,515,083	3,922	14,774	3,500,309
有価証券	1,313,827	108,654	103,601	1,210,226

(参考1) 預金の種類別内訳（期末残高）

(百万円)

	25年12月末		25年3月末	24年12月末
	25年3月末比	24年12月末比		
個人預金	3,712,820	93,289	63,230	3,649,590
法人預金	899,994	6,633	56,997	842,997
一般法人	774,712	15,478	52,854	721,858
金融機関	4,416	△2,988	192	4,224
公 金	120,864	△5,858	3,950	116,914
合 計	4,612,814	99,921	120,227	4,492,587
うち外貨預金	61,203	12,154	29,749	31,454

(参考2) 貸出金の種類別内訳 (期末残高)

(百万円)

	25年12月末	25年3月末比		25年3月末	24年12月末
		25年3月末比	24年12月末比		
貸出金	3,579,459	16,436	16,294	3,563,023	3,563,165
事業性貸出	1,852,786	46,726	49,428	1,806,060	1,803,358
個人ローン	1,726,672	△30,290	△33,135	1,756,962	1,759,807
住宅ローン	1,693,632	△27,445	△30,124	1,721,077	1,723,756
その他ローン	33,040	△2,845	△3,010	35,885	36,050

合算 (銀行+事業再生子会社2社)

(百万円)

	25年12月末	25年3月末比		25年3月末	24年12月末
		25年3月末比	24年12月末比		
貸出金	3,612,073	15,299	48,908	3,596,774	3,563,165
事業性貸出	1,885,400	45,589	82,042	1,839,811	1,803,358
個人ローン	1,726,672	△30,290	△33,135	1,756,962	1,759,807
住宅ローン	1,693,632	△27,445	△30,124	1,721,077	1,723,756
その他ローン	33,040	△2,845	△3,010	35,885	36,050

(参考3) 中小企業等貸出金残高・比率

(百万円、%)

	25年12月末	25年3月末比		25年3月末	24年12月末
		25年3月末比	24年12月末比		
中小企業等貸出金残高	2,840,799	△15,463	△42,711	2,856,262	2,883,510
中小企業等貸出金比率	79.36	△0.80	△1.56	80.16	80.92

合算 (銀行+事業再生子会社2社)

(百万円、%)

	25年12月末	25年3月末比		25年3月末	24年12月末
		25年3月末比	24年12月末比		
中小企業等貸出金残高	2,873,413	△16,600	△10,097	2,890,013	2,883,510
中小企業等貸出金比率	79.55	△0.80	△1.37	80.35	80.92

(2) 投資信託・公共債・生命保険

公共債販売額並びに生命保険販売額は減少しましたが、投資信託販売額は順調に増加いたしました。

① 預かり資産販売額

(百万円)

	25年12月期		24年12月期
		24年12月期比	
投資信託販売額	107,962	44,272	63,690
公共債販売額	2,877	△8,528	11,405
生命保険販売額	65,490	△2,064	67,554
合計	176,330	33,681	142,649

② 預かり資産残高

(百万円)

	25年12月末		25年3月末	24年12月末
		25年3月末比		
投資信託預かり資産残高	189,539	△9,283	198,822	180,528
公共債預かり資産残高	51,029	△5,814	56,843	58,654

3. 自己資本比率の状況

平成25年12月末の自己資本比率は現在算定中ではありますが、池田泉州ホールディングス（国内基準）で、11%台の見込みです。確定次第公表いたします。

4. 有価証券の評価損益の状況

池田泉州銀行【単体】

(1) 満期保有目的の債券（時価のあるもの）

(百万円)

	25年12月末					25年3月末				
	四半期貸借対照表計上額	時価	差額	うち益	うち損	貸借対照表計上額	時価	差額	うち益	うち損
国債	24,997	24,983	△14	—	14	—	—	—	—	—
地方債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
社債	38,292	38,527	234	244	9	32,079	32,451	372	372	—
その他	18,000	18,382	382	382	—	16,000	16,131	131	186	55
合計	81,289	81,893	603	626	23	48,079	48,582	503	559	55

24年12月末				
四半期貸借対照表計上額	時価	差額	うち益	うち損
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
33,374	33,763	389	390	1
14,000	13,965	△34	86	120
47,374	47,728	354	476	121

(2) その他有価証券（時価のあるもの）

(百万円)

	25年12月末					25年3月末				
	取得原価	四半期貸借対照表計上額	評価差額	うち益	うち損	取得原価	貸借対照表計上額	評価差額	うち益	うち損
株式	51,275	74,015	22,739	24,919	2,179	57,438	69,883	12,445	15,245	2,800
債券	648,204	649,242	1,037	1,468	430	652,166	654,633	2,467	2,628	161
国債	335,100	334,932	△168	77	246	401,014	401,161	147	254	107
地方債	54,901	55,061	160	177	16	56,047	56,333	285	293	8
社債	258,202	259,248	1,046	1,213	167	195,104	197,138	2,034	2,079	44
その他	634,622	615,840	△18,782	2,036	20,819	395,441	390,027	△5,414	9,700	15,114
合計	1,334,102	1,339,097	4,995	28,425	23,430	1,105,046	1,114,544	9,498	27,574	18,075

24年12月末				
取得原価	四半期貸借対照表計上額	評価差額	うち益	うち損
59,254	55,795	△3,458	5,726	9,185
613,796	615,178	1,382	1,758	376
387,563	387,479	△84	108	193
53,037	53,321	284	286	1
173,195	174,377	1,182	1,363	181
422,035	413,727	△8,308	6,887	15,195
1,095,086	1,084,701	△10,384	14,372	24,757

5. 金融再生法開示債権の状況

池田泉州銀行【単体】

(百万円、%)

	25年12月末		25年3月末	24年12月末
		25年3月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	8,656	△2,574	△3,776	11,230
危険債権	45,770	2,981	△4,361	42,789
要管理債権	4,370	△7,444	△9,527	11,814
合計(A)	58,798	△7,035	△17,662	65,833
正常債権	3,553,143	20,348	26,460	3,532,795
総与信残高(B)	3,611,941	13,312	8,797	3,598,629

開示債権比率(A)／(B)	1.62	△0.20	△0.50	1.82	2.12
---------------	------	-------	-------	------	------

部分直接償却額	52,668	619	△1,421	52,049	54,089
---------	--------	-----	--------	--------	--------

(参考)

合算(銀行+事業再生子会社2社)

(百万円、%)

	25年12月末		25年3月末	24年12月末
		25年3月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	9,433	△2,295	△2,999	11,728
危険債権	62,977	2,919	12,846	60,058
要管理債権	6,826	△7,538	△7,071	14,364
合計(A)	79,238	△6,913	2,778	86,151
正常債権	3,565,322	19,089	38,639	3,546,233
総与信残高(B)	3,644,560	12,175	41,416	3,632,385

開示債権比率(A)／(B)	2.17	△0.20	0.05	2.37	2.12
---------------	------	-------	------	------	------

(参考) 部分直接償却額

部分直接償却額	54,729	933	640	53,796	54,089
---------	--------	-----	-----	--------	--------

(注) 債権額・・・・・・貸出金、外国為替、未収利息、支払承諾見返、仮払金、銀行保証付私募債、注記されている貸付有価証券

「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」・・・・自己査定における債務者区分「破綻先」及び「実質破綻先」に対する全債権。

「危険債権」・・・・・・自己査定における債務者区分「破綻懸念先」に対する全債権。

「要管理債権」・・・・・・自己査定における債務者区分「要注意先」のうち、債権毎の区分で「3カ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権。

「正常債権」・・・・・・上記に掲げる以外のものに区分される債権。